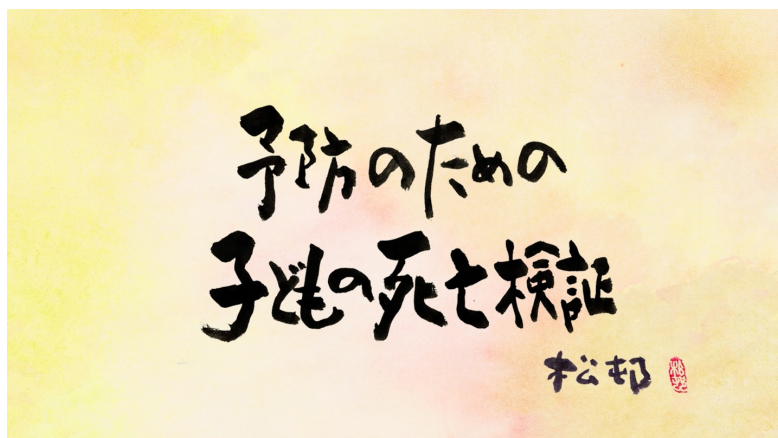


巻末資料4

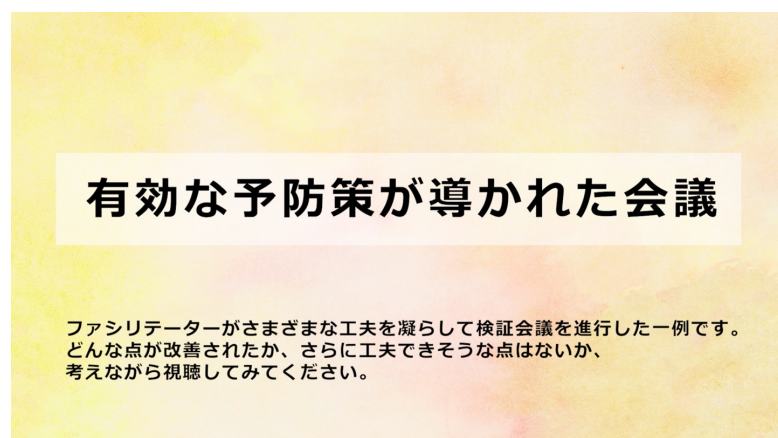
動画資料一覧

- 4-1 動画資料(1) 模擬検証
- 4-2 動画資料(2) CDRファシリテーターのTIPS
- 4-3 動画資料(3) 産後ケア, 赤ちゃんの睡眠時の事故予防(基礎知識編)
- 4-4 動画資料(4) 産後ケア, 赤ちゃんの睡眠時の事故予防(実践編)

巻末資料4-1. 動画資料（1）模擬検証



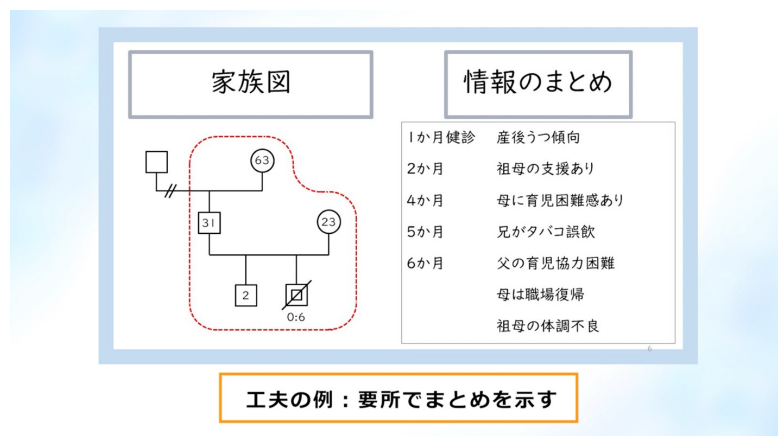
題字を前研究班による既存動画と統一して、CDRにかかる一連のシリーズとしての共通性を探求した。



前研究班にて「理想的な検証の様子」「改善を要する検証」の動画を制作していた。本研究班では、それらを補完するべく「ファシリテーターのふるまい」に焦点を当てた動画を制作した。



現状では「CDRと既存の各種検証の相違点が理解しにくい」との意見が多く聞かれることから、検証の様子を写實的に撮影した動画を用意した。また、ファシリテーターとして留意すべき点に焦点を当てて解説を適宜加えた。



巻末資料4-2. 動画資料（2）CDRファシリテーターのTIPS

CDRにおける司会者の役割

♀ CDRの中で司会者は

さまざまな価値観を持つ多職種から積極的な発言を引き出し
これをまとめて上げて予防策立案へ導く「ファシリテーター」

♀ ブリーフィング



♀ 会議の進行：事実の確認

→ 問題点の抽出
→ 予防策の検討



♀ デブリーフィング

この動画で紹介するTips

建設的な意見が出ないとき・・・
解決例 1-1 事前に発言を依頼
1-2 クローズド・クエスション
1-3 類似の経験を引き出す
1-4 個人としての意見を尋ねる
1-5 考えをまとめる時間を取る
1-6 緊張をほぐす（アイスブレイク）

話が止まらないとき・・・
解決例 2-1 発言の制限時間を明示する
2-2 事前に要点を擦り合わせる
2-3 投影資料を活用する

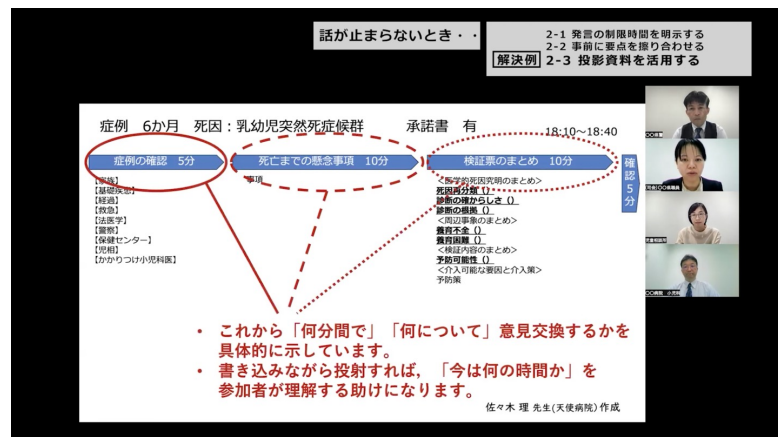
ファシリテーターとしてCDRの運営に携わる際の留意点に焦点を当てて動画を制作した。



司会進行を行う上でのトラブルシューティングについて、実際のモデル事業に携わった有識者の経験を聞き取り体系化した。



体験しうる2つのトラブルに対して、合計8種類の対処を具体的に例示した。



今後、オンライン/ハイブリッド会議が広く行われる場合に備えて、その注意点や工夫点などについても併せて解説した。

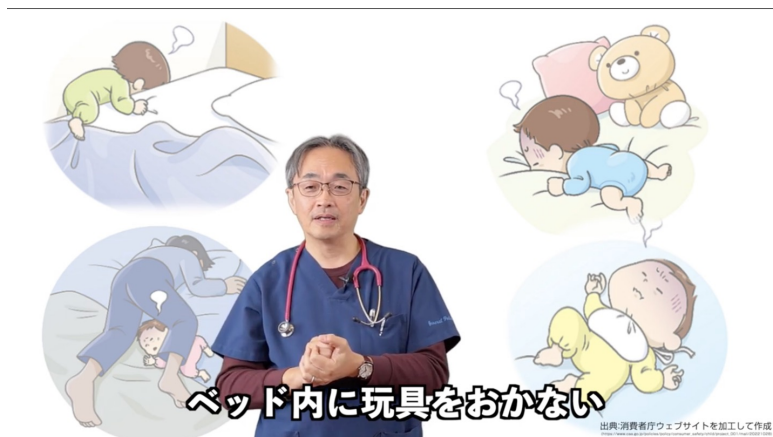
巻末資料4-3. 動画資料（3）産後ケア、赤ちゃんの睡眠時の事故予防（基礎知識編）



産後ケアに焦点を当てて、乳児の安全な睡眠環境の確保についての啓発のための動画資料を制作した。



基礎知識編は、乳幼児突然死症候群の既知の危険因子について解説する、



危険因子を回避し安全な睡眠環境を確保するための具体的な方策について解説した。



今後、この動画は共同開発した日本小児突然死予防学会等とともに、普及啓発に用いることを想定している。

巻末資料4-4. 動画資料（4）産後ケア、赤ちゃんの睡眠時の事故予防（実践編）

安全な睡眠環境の確保に向けて、主に産後ケア施設を対象とした実践的な注意点を動画で示した。





【本動画の内容】

- ① 入所時
- ② 赤ちゃん部屋では
- ③ まとめ

本動画では世田谷区立産後ケアセンターでの取り組みを紹介しています。各施設での実情に合わせて安全管理の体制整備の参考にしてください。



主に産後ケア施設の運用上の注意点をまとめた。



実際に産後ケアが行われている場所で動画を撮影し、より具体的に雰囲気や注意点が実感できるよう配慮した。



（母児同室中のおお願い）

産後ケア事業を行っている当センターは、職になつていくことを支援する施設です。そのため、母子室を快適にしています。以下のことに注意して過ごしてください。

- ① 赤ちゃんが安全に過ごすための環境を整えましょう
 - ・赤ちゃんの口や鼻を塞いだり、顔に敷き付くものや何物かは置かない。
 - ・赤ちゃんの寝る場所、顔に敷き付くものや何物かは置かない。
 - ・赤ちゃんの寝る場所、顔に敷き付くものや何物かは置かない。
 - ・赤ちゃんの寝る場所、顔に敷き付くものや何物かは置かない。
 - ・赤ちゃんの寝る場所、顔に敷き付くものや何物かは置かない。
- ② 安全のためにお母さんと赤ちゃんは別々の布団で寝ましょう
 - ・赤ちゃんを寝かせるときはコートを脱ぎましょう。
 - ・赤ちゃんが寝かせる際は、顔面に利用ベッドを使用しますのでスタッフにお声かけください。
- ③ もしもお母さんと一緒に寝る場合は、必ず以下のこともお守りください
 - ・お母さんと赤ちゃんは別々の寝具を使用する。
 - ・赤ちゃんがベッドや布団から転落しないよう、顔面に敷き付くものや何物かは置かない。
- ④ 赤ちゃんの安全を確認するために、夜間は助産師が様子を伺います
 - ・21時・0時・3時・6時・9時・12時・15時・18時・21時・24時
 - ・お母さんが寝た場合、いつでもナースコールでお知らせください。



書面を用いて注意事項を確認する

今後、産後ケア施設等で本動画が利用されることを想定している。